



誠美だより

2

2015/FEB
誠美保育園

かまど 竈とお米の話

暦では春というのに寒い毎日が続きます。先日は積雪もありましたが、それを除けば安定したお天気が続き、0〜2歳児たちも次々と園庭に降りてきて、充実した外遊びが展開されています。

おかげで、1月の平日と日曜、2回の餅つきも晴天に恵まれ、日本の冬を存分に味わう事ができました。

1回目、平日に園児だけで行うお餅つきは、親子で楽しんだ日曜日の地域餅つき会より、ひと手間かけていることがあります。それは半分ほどのお米を、竈(かまど)使って蒸していることです。ここでは、剪定した園庭の木々たちが、焚き木となって再び活躍してくれる場にもなっています。

子どもたちに、昔ながらの方法で蒸すうすを見てもらいたくて竈を出しているのですが、その上に置かれた銀色の蒸籠(せいろう)の中に何が入っているのか、そこで何か行われているのか、火はどうして必要なのか…それを子どもがわかるように、手短かに説明するのは思いの外難しいもの。

さすがに4〜5歳児になると、色々と興味を持って問いかけてくるので、こちらも必死なのです。蓋をとって湯気やその中のお米を見せたりと、できるだけ実感を伴うようにとあの手この手で解説するので、それを見て「あ、ごはんだ」と言われると、そうだとさええず…。

そこで今年は、普段食べているお米「うるち米」と「もち米」を、蒸す前の乾いた状態のまま、それぞれを小皿に入れて、かまどの前に並べて置いておいたのです。

半透明と真っ白、太身と細身、子どもたちは熱心に観察して、うるち米ともち米の違いに色々と気づいてくれました。こうして「見る」力は「考える」力へと繋がっていきます。そんな事には興味の無い、まだ小さな子どもたちは、かき混ぜたり、さらさらと手からこぼしたりと、別の好奇心が働くようで、これはこれで大事な学びの時です。「触れる」ことは「知る」事へ繋がっていくからです。

お米の粒を見ながら、「これはどうやってできるの?」と数人の子に問われました。私が幼い頃、友だちと走り回っているかわらで、田植え、稲刈りは当たり前前の風景

でしたが、なるほど、今のこの地域は違
います。

田んぼを見せてあげたいな、稲穂はどこ
で手に入るだろう、この時期までとってお
けるかな、いつそ育ててみようか。子ども
たちで竈炊きができるかな、もつと火と関
わるうまい方法はいいのか…こんな事を
考えていると、後片付けも少しは楽しくな
るものなのです。

園長 折井誠司

今年度最後の懇談会へ

2月21日(土)は、今年度最後の懇談会
です。それぞれのクラスで、保護者のみな
さんといっしょに、この一年を振り返りな
がら、来年度への抱負を語り合っていきた
いと思います。

また、園全体のことをお話する時間も設
けます。今回は、次のような内容を予定し
ております。

- ・来年度から始まる新制度とそれに伴
う延長保育料金体系の変更について

- ・まもなく始まる園内修繕工事の予定
について

普段、なかなか行き合うことのできない他
の保護者の方と、コミュニケーションをと
ることのできる貴重な機会です。ぜひご参
加をお願い致します。

その際、いくつかのお願いがございます。

- ・懇談会では多くの保育室を使用する
ため、保育スペースがかなり制限さ
れます。可能な限り、ご家庭での保
育にご協力下さい。また、小学生以
上のお子さんをお預かりすることは

できません。特別な事情のあるご家
庭は、必ずご相談下さい。

- ・駐車場は利用できませんが、混雑の状
況によっては、駐車できない場合や
すぐに在庫できない場合があること
をご承知おき下さい。可能な限り車
以外の方法でご来園下さい。

ぜひとお誘いをしている中、大変恐縮な
のですが、各ご家庭の小さな協力が、いつ
も、保育園の運営や子どもたちの日々
の充
実の、大きな支えになっています。
よろしくお願い致します。

カレンダー

2月	3 (火)	誕生会 (豆まき)
	4 (水)	発育測定 (K)
	5 (木)	発育測定 (012)
	10 (火)	防災訓練
	16 (月)	保育参観週間 ※ 20 (金) まで
	18 (水)	乳児健診
	21 (土)	懇談会

- 編集 誠美保育園
- 編集人 折井誠司
- 発行人 折井誠司
- 印刷所 誠美保育園
- 発行所 社会福祉法人 誠美福祉会

〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-1-2

電話 042-6775-1551

ファックス 042-677-5643

Email seihohokuen.jp

http://hokuen.jp/